

～一人ひとりを大切に～

戸田ゆき子の ニューズレター



2011.1.20. No.10

発行 戸田ゆき子とともに市政を考える会
〒284-0001 四街道市大日160-27
E-mail yukiko7toda@yahoo.co.jp

TEL & FAX 043-421-3541
郵便振替 00140-0-484033

寒中お見舞い申し上げます。

12月議会では、千代田公民館・旭公民館の指定管理者として四街道市施設管理公社の指定やみそら小・四和小・四街道西中学校の体育館の耐震改修工事費約2億4千万円の計上された補正予算を可決いたしました。また、都市計画道路3・3・1号山梨白井線に関する請願が2件だされ、「新型2車線」への見直しを求める請願は不採択。早期整備を求めるものは採択されました。今年も、情報公開・市民参加を進め、対決ではなく、対話によるまちづくりに取り組みます。

特集 都市計画道路3・3・1号山梨白井線とは

千代田団地くみそら団地く国道51号を結ぶ幅員22m(4車線) 距離5200mで都市計画決定済み



をきっかけに3・3・1号について調査・学習し、以下の点を検証した結果この道路の緊急性・必要性はかなり高いとの認識にいたしました。

① 将来への明るくビジョンづくりのため。

隣接して住宅の整備および大型商業施設の出店が見込まれており、この道が整備されることで将来にむかってまちの活性化が図れる。

3・3・1号は、昭和43年に千代田団地からみそら団地まで都市計画決定がされ、その後、隣接して成台中土地区画整理事業が展開されることになり、平成7年に国道51号まで延伸しました。住宅地に約2100人の転入を見込んでおり、区画内には大型商業施設が土地を購入し、出店に意欲的です。(4車線化が前提条件となっていて4車線であれば出店取り止めの可能性が大きい) 出店すれば、人口増や雇用促進に加え税収の増加など本市にとって大きなメリットもあるわけで、出店は、将来的にまちの活性化へのきっかけになると前向きに受け止めています。このような明るいビジョンがあるのに目先の支出を惜しんで整備を中断するのは如何なものか。このままでは一部の地区はもちろん、市全体が少子高齢化より衰退するのを消極的に推進するのと同じです。

② 通学路・生活道路の安全性の確保

子ども・高齢者への配慮

(裏面へ続く)

道路整備も福祉の一環

私は都市計画道路3・3・1号線について、必要な道路ではあるけれど①巨額な費用を要する事業であるにもかかわらず市民への説明が十分ではないこと②市の財政状況が必ずしも潤沢ではないことを勘案して、緊急性・必要性の観点から費用対効果について、しっかりと議論してからでも遅くはないと考え、3・3・1号山梨白井線の整備事業費が計上されている平成22年度6月補正予算と平成21年度決算には反対しました。が、今回、請願

③国道51号と直接つながることにより、流通ルート的大幅な改善とともに、市内を通過する車の流れを外に持っていく機能を持つ。吉岡十字路の渋滞改善。

④J Rの踏切を通らず、南北を結ぶ重要な路線である。

現在、踏切を通らずに四街道の南北を結ぶ都市計画道路は、J R線延長約8 kmのうち、みのり町ガード下を通る1路線しかないために、県道浜野四街道長沼線が慢性的な大渋滞であり、またゲリラ豪雨による冠水で、このみのり町ガード下も通行止めになることはしばしばで、是非とも動脈硬化を起さないたくましい血管が必要です。

⑤防災への対応の向上が図れる

平成7年1月に発生した阪神淡路大震災の際に、あのような大惨事であっても、動脈として機能している4車線以上の都市計画道路においては、防災機関の緊急車両、物資輸送や市民の緊急避難路等としての機能に支障が少なく救助活動が行われていたこと。これは、市内の大動脈となる道路が4車線以上であるべきと阪神淡路が経験した大きな教訓ではないでしょうか。

●福祉を後回しにすることではない

一部に3・3・1号線の4車線化は、福祉を後回しにした道路優先の姿勢であり、福祉をないがしろにしているとの意見もあるようですが、



前述したとおり市の活性化・新陳代謝の促進は高齢者に優しく、子育てしやすいという大きな意味での福祉であると捉えています。

決して福祉を後回しにすることではありません。

●市民にもっと説明を、市民の声を

市民への説明が十分ではないことを改めて感じました。行政と市民とがお互いに事実を共有することがまちづくりにとって必要不可欠ですので積極的に情報提供し、行き届いた福祉のあるまちづくりを目指します。

市の支出が増えてしまう請願3号にはNO!!

請願の趣旨は経費削減とされていたが

3・3・1号山梨白井線の整備は、現在第1工区800メートルの整備がはじまっており、その全体経費は37億円と見込まれ、負担内訳は国の補助金13億円、市債12億円、市一般財源12億円です。請願の趣旨は「2車線と4車線を混在させた新型2車線に見直すこととで、15億〜20億円の削減が期待できる」と説明がありました。

多少の経費は下がっても、かえって大幅な市の支出となってしまう請願!

しかし、請願内容である「新型2車線」に変更をすることによって、全体経費は若干下がるでしょうけれど、かえって市の支出が増えてしまうというところが判明いたしました。つまり、4車

線で都市計画決定されている3・3・1号線を請願内容の交差点のみ4車線にするにより、国の補助金は一切出なくなり、15億〜20億円の削減どころか、全体経費のすべてを、市が支出して事業をしなければならなくなるということです。

実質的には、請願3号の方が市への財政負担は大きいと判断しています。

「(仮称)四街道市平和事業推進条例」の制定を求める請願、継続審査に

この請願の趣旨は、

- ①核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨を踏まえ、平和事業を実施
- ②平和事業を適正に運用し、市民の協力と参加のもとに円滑に実施するために市民委員会を設置

「核兵器のない世界」への署名を40,108筆も集めた四街道市民の平和を願う意識を受け止め、平和事業の一層の推進と継続した取り組みがなされるためには市の姿勢を明確に示した条例が必要です。

3月議会での採択をめざしてがんばります。



一般質問より

①「第5期介護保険事業計画」策定にあたり、課題把握のために実態調査について質問。平成23年度早期にアンケート調査を行うとともに、介護保険事業者や介護する家族との意見交換会を実施し、現場の生の声を聞く機会を設けるとの答弁がありました。

②30人学級の導入について6月議会に引き続き質問。子どもたち一人一人へきめ細かな学校教育の推進にむけ、小学校1・2年生を対象に早急に実現すべきと要望しました。

戸田ゆき子と
おしゃべりサロン
(議会報告会)

日時 2月23日(水)13:30~
場所 文化センター207号

無料

議会のこと・市のこと・どんなことでも・どなたでも。お待ちしております。



3月議会の予定

- 2月28日(月) 開会
 - 3月4日(金)~8日(火) 各常任委員会
 - 10日(木)~15日(火) 各会派代表質問
 - 16日(水)~23日(水) 予算審査特別委員会
 - 25日(金) 最終日・閉会
- 傍聴においでください

